

礼状

この度「世界の笑顔のために」のプログラムを通じて、日本から素敵な絵本が届き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。フロレンシオバレーラ日本語学校にて校長を務めている■■■■と申します。今回は、日本人会と日本語学校の代表として、感謝の言葉と本校の簡単な紹介をさせていただきます。



先日、日本人会の会長から上記の写真が届いて、絵本とけんだまが届いたと知りました。今、学校は夏休み中で、子供たちには、この素敵な贈り物については、知らせておりませんが、3月中旬、新年度が始まった次第、伝えさせて頂きたいと思っております。学校には、絵本は何冊かありますが、今の世代の子供たちは、日本語が分からないせいか、絵本にはあまり興味がないことに気づき、この頂いた絵本をきっかけに、読み聞かせをしたり、色々な活動をしなから、興味を持たせようと思っております。そして、日本の伝統的なけんだまのようなおもちゃは、見たことがない子供がほとんどだと思えます。これからのプロジェクトですが、子供たちに頂いたけんだまをはじめ、おはじきやお手玉などの昔のおもちゃや遊びを紹介して、日本文化の本の一部でも引き継いでもらいたいと思っております。

新年度が始まったら、子供たちの絵本とけんだまを持って、笑顔の写真を是非お送りさせていただきます。

フロレンシオバレラ日本人会と日本語学校は、南米のアルゼンチン国ブエノスアイレス州、都市付近のフロレンシオバレラ市にある日本人会の会館と体育館、校舎とグラウンドで長年、様々な活動をしております。バレラ日本人会は、ほとんど沖縄子孫の日系人で、現在1世～5世までの250家族約800人の会員で構成されています。日本語ができる人は少ないとはいえ、みんなで日本文化、日系文化、そして特に沖縄文化を次世代に伝えられるように熱心です。

日本人会には、新年会、敬老会、忘年会などの年中行事もありますが、本会を代表とするバレラ祭りが一番知られていると思います。バレラ祭りは1年に2回、秋と春に行って日本人会付近のコミュニティーに日本文化を知ってもらうために、文化的な出し物や和食を備えております。この祭りを始めたのは、10年以上前で、来客がわずかでしたが、去年、2年間のパンデミックによる中止が終え、春の祭りに8千人以上のお客さんがいらっしまったそうです。いろいろと大変でしたが、久しぶりのお祭りができて、みんなで助け合い、苦労もしましたが、お客様も私たち日本人会の会員もお祭りを楽しめたのがとても嬉しかったです。その他、エイサーや、日本舞踊、琉球舞踊、卓球、バレーボール、歌などがメインのアクティビティーです。



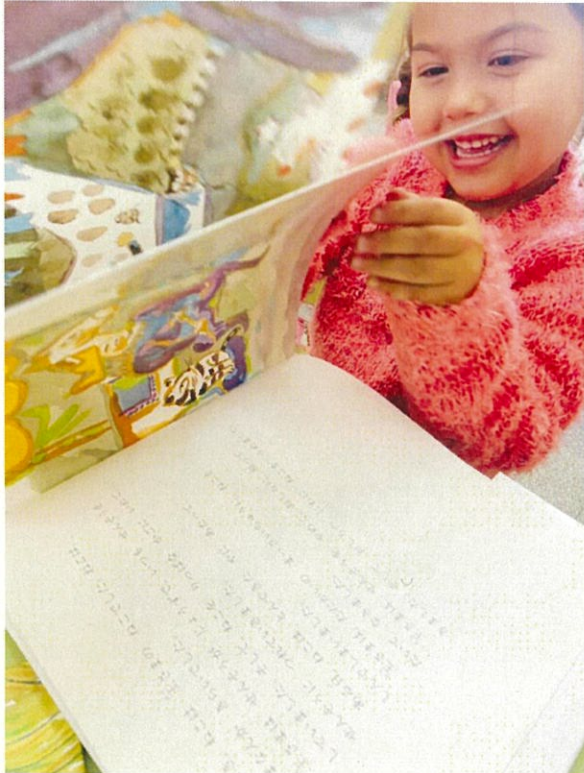
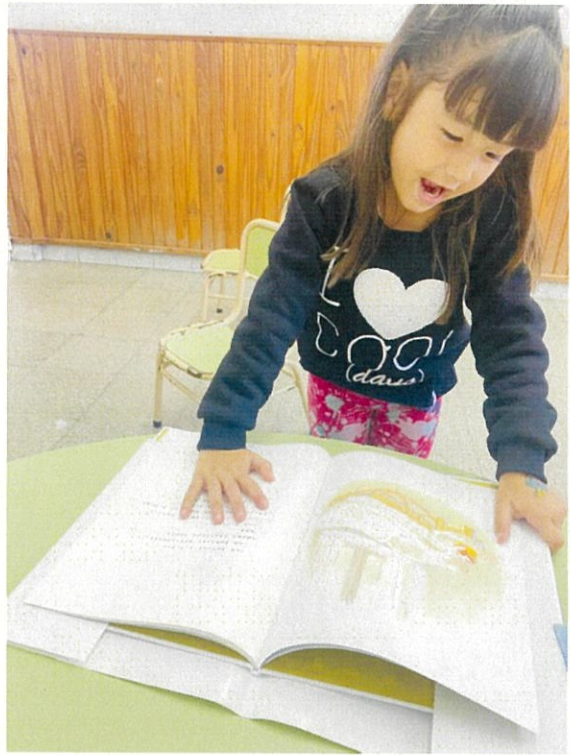
日本語学校の方では、現在50人ぐらいの子供たちが、3月から12月まで毎週土曜日午前9時半から午後4時まで通っています。その時間帯で日本語の勉強と文化活動と体育をしています。職員は5人で、幼稚園クラスから8年生までの担当をして、維持会とともに学校を運営しております。学校の年中行事として、入学式、運動会、ピンポン大会、朗読大会、写生大会、それから、終業式、卒業式、学習発表会がメインですが、バレーラ校は「教連」と名のる在ア日本語教育連合会に加盟しており、他校と一緒に開催される教連運動会や教連ピンポン大会などにも参加しております。

学校の目的として、もちろんできるだけ日本語を伝えることですが、日系人として、子供たちのアイデンティティを養うのも大切だと思います。いつか子供たちがお友だちをたくさん作り、みんなで助け合いながら、先代の歴史や文化、意志を引き継いでもらって、日系社会の未来を輝かせるための機関になれるように頑張りたいと思っています。



学校紹介の動画リンク：

https://www.youtube.com/watch?v=PfZUyRJDFJY&ab_channel=AnichiKen



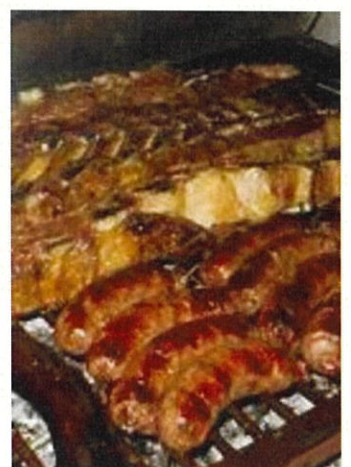
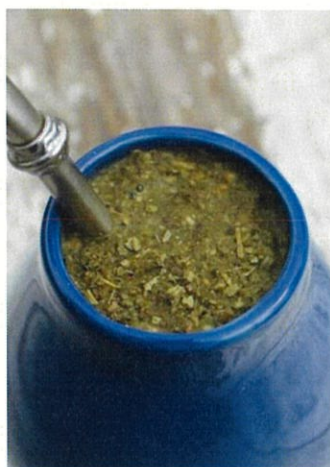
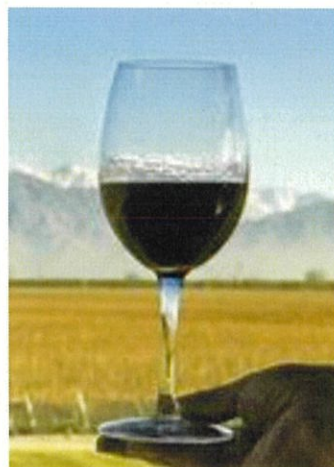
アルゼンチンのご紹介



アルゼンチンは日本から見ると、ほぼ地球の反対側にある国。

国土は日本のおよそ「7.5倍」にもなる広大な面積を持っており、その広さは世界第8位。南北に長いところが特徴です。

一方、人口は日本の4割程度。その分、古くからの大自然が多く残されており、美しい風景も数多く見つけることができます。



アルゼンチンは世界遺産や大都会、壮大な自然やグルメ、マテ茶、ワイン、などが楽しめる、魅力的な南米の国。

- 国土面積：約278万km²
- 首都：ブエノスアイレス
- 人口：4,732万人（2022年）
- 通貨：ペソ
- 公用語：スペイン語
- 宗教：カトリック系など。宗教の自由が認められている

アルゼンチンで楽しめる観光地



イグアスの滝

イグアス国立公園は、アルゼンチンの世界遺産の一つ。また、アルゼンチンの隣国であるブラジル側にも広がっている自然公園でもあります。「悪魔の喉笛」は必ず見るべきです。まさに悪魔の音が響いているような轟音を耳にすることができます。

ケブラーダ・デ・ウマウアカ
世界遺産の「自然にできた渓谷とは思えないほどの色彩に目を奪われます。歴史を感じる街道や集落、カラフルな地層「七色の丘」など、他では目にしたことのない光景を見ることができます。



ウシュアイア

アルゼンチンの最南端でフエゴ島に位置するティエラ・デル・フエゴの州都です。ティエラ・デル・フエゴの名は、火の土地を意味し、昔、先住民たちが焚く火が島のあちこちに見えた事に由来しています。20世紀前半には、この町は、凶悪犯の流刑地となっていた歴史があります。ここは「地の果て」と呼ばれています。

ペリト モレノ氷河

この氷河は、アンデス山脈の南端部に存在する南パタゴニア永原から流れ出す48本の氷河の一本である。この氷河の周辺は同国からロス・グラシアレス国立公園に指定されている。

